

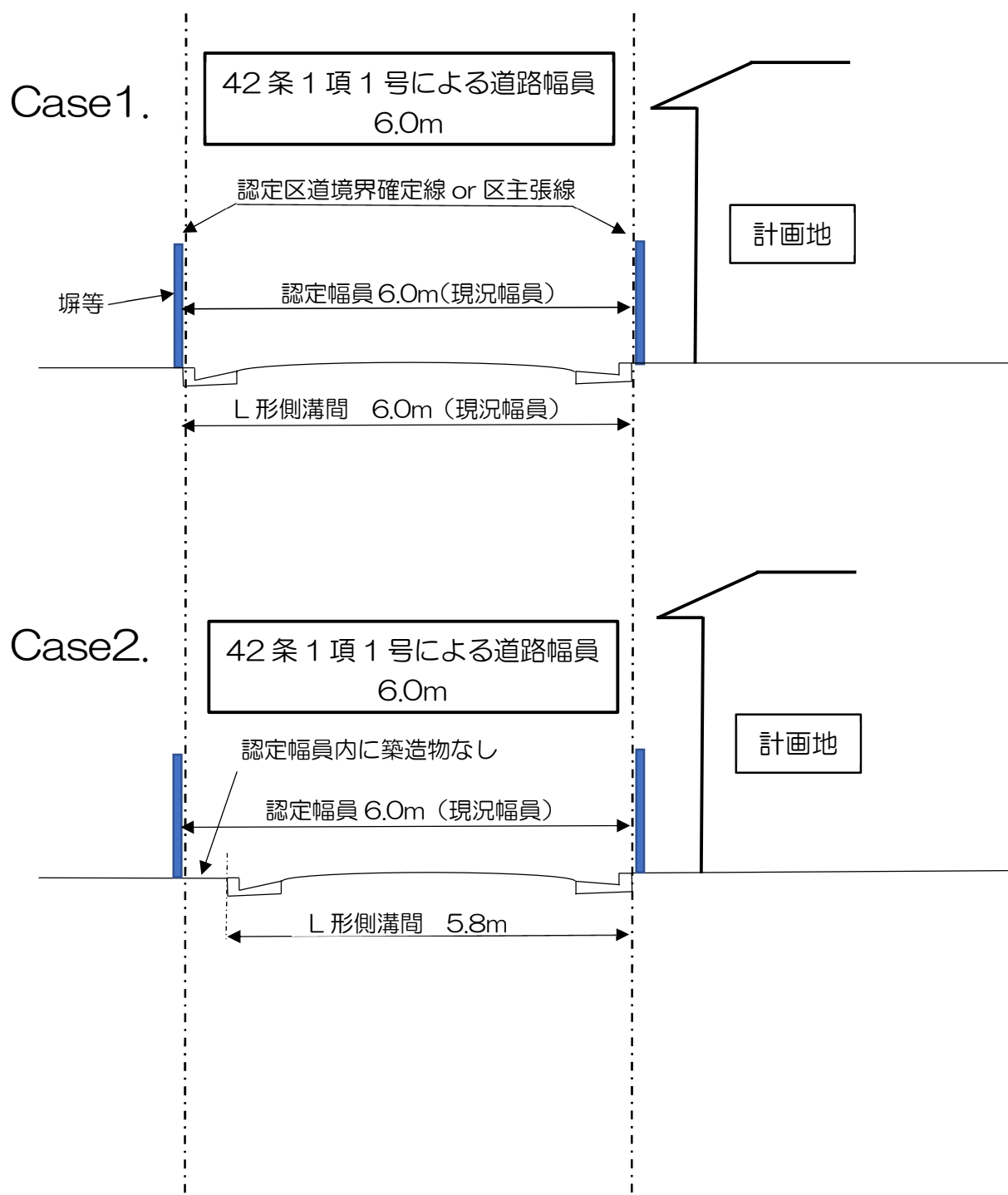
建築基準法第 42 条第 1 項第 1 号の幅員の扱い

建築基準法上の道路幅員は認定幅員と現況幅員の狭い方を道路幅員とする。

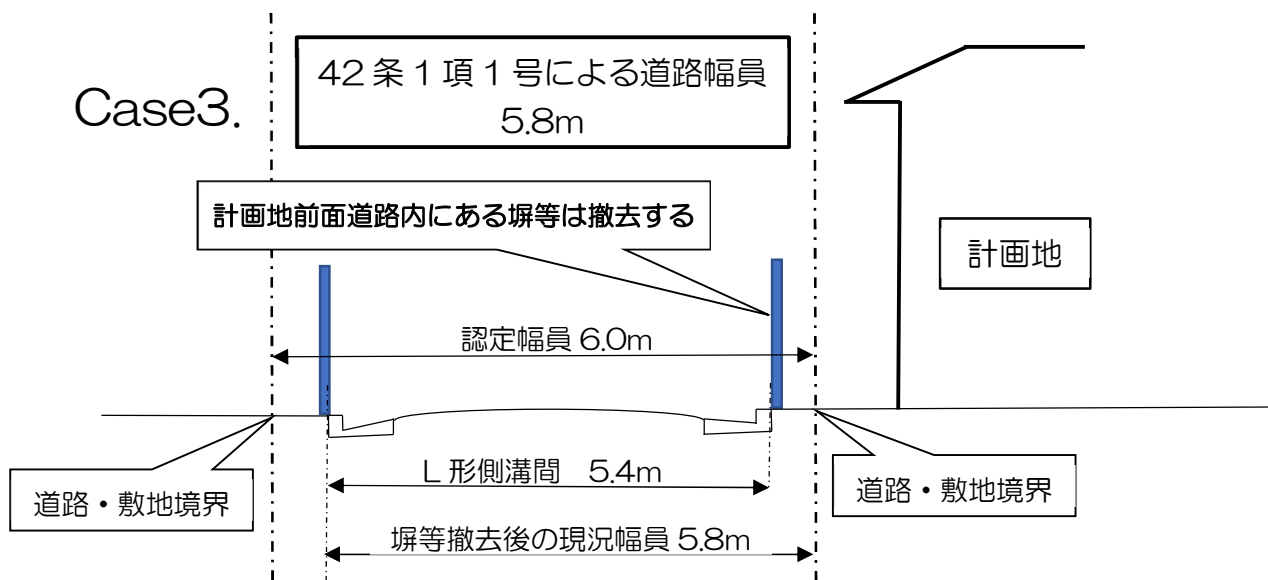
具体的な例は、以下のとおり。

※ 道路境界線確定後は土木部と境界是正の工事等について協議する。

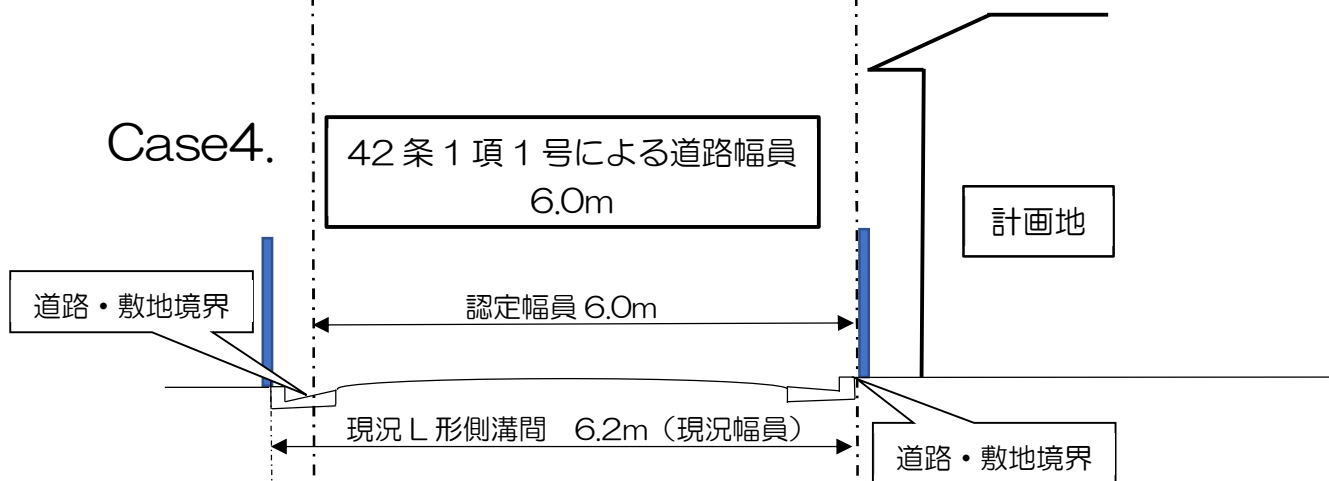
※ 道路認定と道路区域が一致しない場合は別途、建築指導課指導係と協議する。



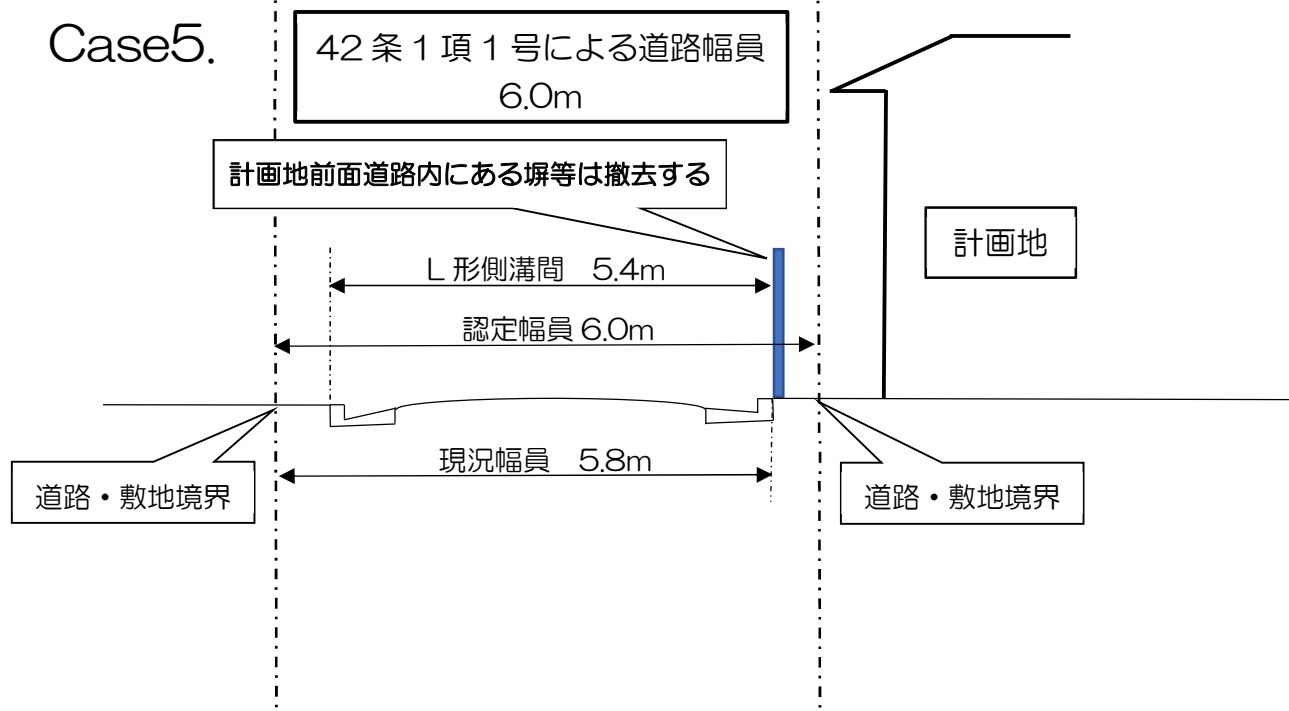
Case3.

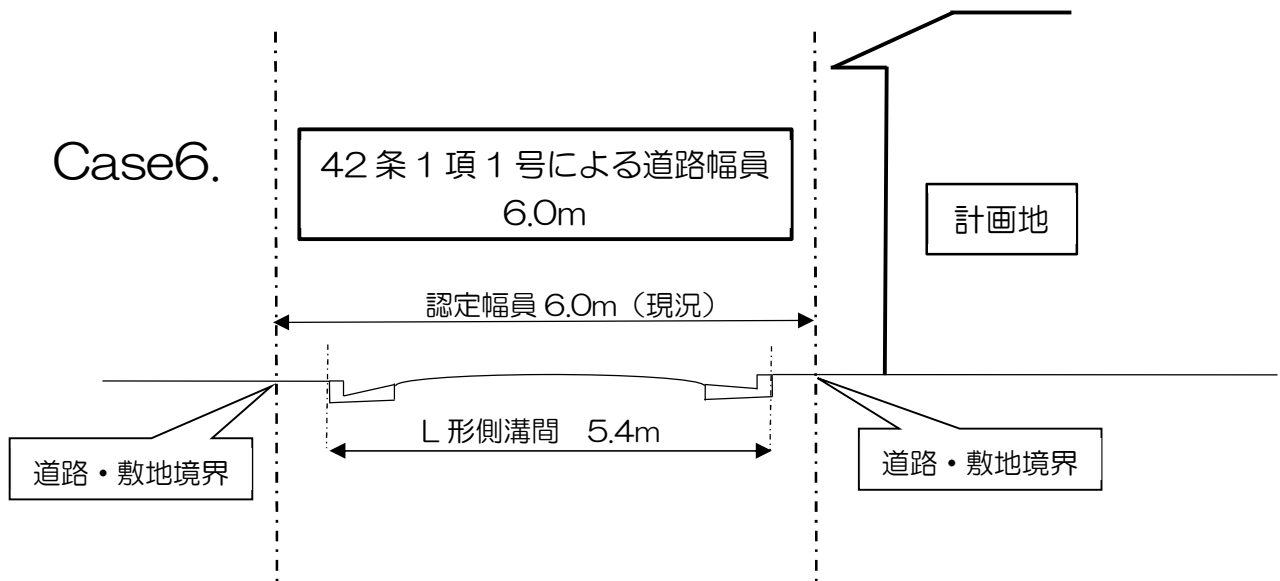


Case4.



Case5.





【前面道路の幅員について】

- ◆現況幅員（道路状部分）が認定幅員より狭い場合、『現況幅員』
（計画地道路境界～対面地側の道路状部分（建築物がない空間）の端部）
を建築基準法の道路幅員とする。
- ◆現況幅員（道路状の部分）が認定幅員より広い場合、『認定幅員』を
建築基準法の道路幅員とする。